

世界の子どもたちのために

Wish

Vol.4(2003年春)



(財)日本ユニセフ協会

兵庫県支部

〒658-0081
神戸市東灘区田中町5-3-18
コープこうべ生活文化センター4F
TEL 078-435-1605
FAX 078-451-9830

ユニセフ兵庫ニュース

「子どもの参加が
未来をつくる」

©日本ユニセフ協会



戦乱の中で必死に生きるイラクの子どもに支援の手を

イラク緊急募金

イラクの子どもたちの命が、危険にさらされています。



イラクの子どもたちは今、戦乱の苦難と恐怖の中で助けを待っています。食べ物や安全な飲み水も手に入らず、体力と抵抗力が衰えていく子どもたちの体を、はしかなどの感染症や下痢が容赦なく襲います。目前で繰り返される暴力に子どもたちは怯え、傷つき、一刻も早い心理的サポートを必要としています。

イラクの子どもたちは生まれてからずっと戦争や経済制裁のために命を脅かされてきました。今回の戦争が起こる前にも、5歳未満の子どもの4人にひとりが栄養不良に苦しみ、また安全な水を得ることができず、8人にひとりが5歳の誕生日を迎える前に命を失う深刻な状態にありました。戦争の一番の犠牲者はいつも子どもたちです。

ユニセフは中立・人道的立場にたち、戦乱の中でもトラック輸送を行い、医療品や栄養補助食、生活用品などの救援物資を子どもと家族のもとに届けています。困難な状況にあるイラクの子どもたちのために、皆様からのご支援をお願いいたします。

ユニセフとイラク 今回の緊急事態でユニセフは、これまでの経験とネットワークを生かし、イラク国内及び周辺国から子どもと女性のための緊急人道援助を実施しています。イラク国内に備蓄したり、周辺国の国境近くに設置した物資センターに集められた緊急救援物資を、イラク国内の子どもたちに届けています。治安の回復後は、国際職員がイラク国内に復帰し、復興支援に重点を移して活動を強化します。

ユニセフの緊急援助

水と衛生...避難民を含む1700万人に対して清潔な飲み水を提供するため、上下水道施設の発電機の設置と修復、仮設トイレの設置、給水タンク、飲料水ケース、浄水剤の提供を行います。

保健...5歳未満児420万人と妊婦100万人の基礎的な保健サービスを確認するため、はしか、ポリオ、3種混合、破傷風の予防接種を行い、保健施設の修復と医療品、治療器具の提供を行います。

栄養...栄養不良の子ども130万人と妊婦100万人の栄養状態を改善するため、栄養状態のモニタリングと栄養補助食の提供をすすめます。

教育...570万人の子どもの教育の機会を確保するため、学校の修復と教材・教具の提供をすすめ、子どもの学校への復帰を促すほか、避難民キャンプに簡易学校を設置します。

子どもの保護...孤児院などの施設に住む子どもの生活支援や、家族と離れ離れになった子どもの再会支援、紛争地域での地雷や不発弾による事故の予防プログラムを実施します。

イラク緊急募金のお願い

郵便口座：00110-5-79500
財団法人日本ユニセフ協会
通信欄に「イラク K1-280兵庫」と明記

ご寄付は郵便局指定の振込用紙をご利用の上、上記口座までお振込みください。
送金手数料は免除されます。
当協会への寄付金は、所得税、法人税、相続税の控除対象となります。

皆様からの募金で
イラクの子どもたちに
こんな支援ができます。

- 5,000円で...緊急栄養補助食「高蛋白ビスケット」343食分を栄養不良で衰弱した子どもに提供することができます。
- 10,000円で...重度の栄養不良にかかった子どもに飲ませる治療用ミルク40人×1日分を提供することができます。
- 50,000円で...消毒薬や治療用の抗生物質などが入った基礎医療品キット2500人×1ヵ月分を提供することができます。
- 100,000円で...安全な飲み水を供給するための給水タンク(5000リットル用)1基を設置することができます。

ユニセフのつどい

兵庫県支部設立1周年記念

「世界のともだちと心をつなごう」開催

～わたしたちにできること～

2003年3月23日(日)コープこうべ生活文化センター2階ホールにおいて、兵庫県支部設立1周年記念行事、「ユニセフのつどい～世界のともだちと心をつなごう わたしたちにできること～」が開催されました。暖かい春の陽気に恵まれ、170人もの参加がありました。ユニセフ基礎講座の寸劇に始まり、ネパール視察報告、募金贈呈、活動報告、JAZZ演奏、展示、写真展(同時開催)等々盛りだくさんで、中でも小・中学生や大学生による活動報告は、みんなが想いを共有し、心がひとつになったことを実感したひとときでした。



会場風景



やさしさのうた

ごめんね ありがとう いつも素直にはなしてませんか? つまらない意地をはなしてませんか? 伝わりやすいよ 張ってだまっていますよ 伝わりやすいよ たったひとつのごめんね ありがとう 心がホラ こんなふうに優しくなるね すてきな 魔法のことはだから 素直に はなしてみよう

三田市立高平小学校
男子3人組による心温まる発表。
中でも自分たちで制作された「やさしさの歌」は大変心に響く内容で、会場全体に感動を与えてくれました。CDへの問合わせも多数。



活動発表

神戸市立桜の宮中学校
生徒会役員の皆さんの中から2人が代表で発表いただきました。文化祭での発表や募金活動を中心にスライドもまじえて具体的に紹介していただきました。

フレンドシップクラブ

神戸大学発達科学部附属吉中学校保護者サークル、6グループ中、唯一の保護者グループ。「子ども達のパワーに負けないように」のコメントどおり、パネル展示等もしていただき熱心に学習されている様子が伝わってきました。

[参加者・発表者]の声(感想抜粋)

- 私は学校ではよくねるけど、ここではねなかった。ということは、とても充実した時間をすごせたということです / 15歳・女子
- 小さな事で沢山の人が心をこめてやれば大きな事になる / 14歳中2・女子
- さまざまな学校や場所や地域で活動が行われていて嬉しかった / 14歳・女子
- みんながいて嬉しかった、活動の輪を広げたい / 15歳・女子
- やさしさの歌、愛の歌、平和の歌... 沢山の歌が聞けた、歌の持っている力を感じた、アルミ缶回収について聞いてくれた人達がいてやってよかったと思った、JAZZすばらしかった / 中2・女子
- 日本も昔ユニセフに助けられたことにおどろいた。世界平和を心から願っています。今後もユニセフ活動に参加していきたい / 14歳・女子

- 経口補水塩が家で作れることに驚いた、飲んでみたことが心に残る / 14歳・女子
- 私はすごくぜいたくな生活を送っていると思った、自分ができる小さなことから一步一步やっていきたい、世界の平和を心から願う / 15歳・女子
- 5歳未満の子どもが3秒に1人死亡・100円で沢山の薬におどろいた、ネパールのスライドで笑えなくなった子どもの腫が心に残る、永田さんのJAZZ演奏良かった / 多くの小・中学生
- 今日ここにきた皆と1つの目標を達成するために一生懸命つどいに参加できたと実感できて嬉しかった、JAZZがすごかった、皆と1つの歌を歌って本当に心に残った、これからもユニセフ活動に参加していきたい、楽しかった! / 無記名
- 子ども達の力強い発表に心を打たれた、小・中学校でユニセフ活動を独自に行っていることビックリ、この子ども達が成長して行ってくれることは今後のユニセフ活動に大きな希望 / 30代・女性

- 私達の無関心さが戦争へと続いたのでは... 今日子ども達を見ていてと未来も少し明るくなる / 38歳主婦
- 子ども達のメッセージをそれぞれの地域の人達が受けとめている事が嬉しかった、高平小の歌が心に響いた / 30代・母
- 5歳未満の子どもが3秒に1人死亡のことに驚く、高平小のやさしさの歌を聞きながら自然に口ずさんだこと心に残る、SPROUTの手話の歌を歌い会場の皆さんの愛を感じた、今まさに遠くで戦争があり、私達は本当に平和な日々を過ごせることに感謝しています、本日参加できて本当に良かった / 63歳・主婦
- ネパールといえば山ばかりと思っていた、豊かな平原があるのを知った、今日の米英の戦争について、あの戦火の下で私の子どもと同じ年齢の子どもの素敵なつどいに参加させていただき感謝に思いますが、充実した貴重な時間を過ごしました、ありがとうございました、今後の私の活動、

- 子ども達があんなに一生懸命に活動している、大人も頑張らねば、他人事じゃないよ、この会に参加できて嬉しかった、これから子ども達に負けず積極的に参加します / 公務員・男性
- これからの日本を背負っていける子達だと頼もしく思った / 無記名
- アメリカのイラクに対する今日の状況で国連に対する不信感、そして日本もアメリカの立場を応援することに納得が行かない、ユニセフ活動が国連を支えてください、国連を信じるようになってほしいと思います / 無記名
- ネパールの子供達は働きながらその間の時間で勉強していた / 短大1年・女性
- 誰でもできるような簡単なことでも普段は殆んど考えたことがなかった、そういうことを考えるきっかけになった / 19歳大学生・男性
- 今回とても素敵なおどろきに感謝させていただきます、ありがとうございます、今後の私の活動、

- 人生においても大きなものになったと思います / 21歳大学生・女性
- 高平小CDに1番感動、永田さんのピアノ演奏も心に響く、歌は人の気持ちを優しくする、世界中で優しい歌が歌われる日がくることを... / 無記名
- 対地雷雷を初めて見て、殺傷力が大きいのに大変小さく、大量に残っていることに怖さを感じています、生徒達が一生懸命で愛の歌すばらしく心に残る、輪が広がっていくことが嬉しい / 主婦
- 知らせることが重要な活動、小さな愛を大きな愛に / 52歳主婦

[スタッフ]の声

- 子ども達のがんばりに感動、ユニセフについて具体的にわかった(コープ職員)。
- 子ども達の発表がすごい励みになった。
- 小中学生が「小さな愛から大きな愛へ」理想を無理なく身につけている

ネパール・スタディツアー報告

古河さんによる「ネパール報告」では、大阪支部の中村さんも駆けつけてくださり、「つらい現状の中でも子どもたちの目はキラキラ輝いていた」と熱く語っていただきました。また、ネパール語の挨拶を覚えていただいたり、とても楽しい時間を過ごしました。その後のスライド報告では自分の親に工場に売り飛ばされ大人を信用しようとする子どもや、仕事や貧しいためにユニセフが開校している早朝の学校に通う子どもや、革靴をはいてお弁当を持ち学校に行く子ども等、様々な子どもに出会いました。大きな貧富の差がある中ですが、子どもたちは本当に明るく、将来に向かって頑張っているということがよくわかり、私たちも頑張っていこうと力をもらったような気がしました。



寸劇を披露「ある日、あるところで」

県支部学習チームが練り上げたユニセフ基礎講座。今回は経口補水療法をとりあげ、「5歳の誕生日を迎えられずに亡くなっている子どもが3秒に一人」



いること、その原因の一つに下痢による脱水症状があり、それを防ぐものとして「経口補水塩」を紹介。

募金贈呈式



福崎町立高岡小学校
「小さな愛を大きな愛に」の言葉を大切に13年続けられてきた活動についてパソコンによる資料もまじえながらわかりやすく発表いただきました。パソコン資料作成には先生にもご協力いただきました。

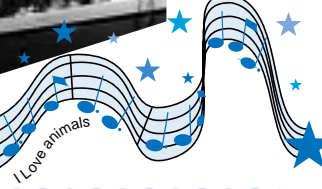
関西JAZZ協会JAZZピアニスト永田順子さんとギターによる演奏会。豊かな歌唱力と楽しいトークをまじえ、平和へのメッセージに溢れた素晴らしい演奏を披露していただきました。活動発表してくれた子ども達も、すべての報告が終了してホッとしたひととき、会場全体が素晴らしい演奏に聞き入っていました。曲目は、スタンダードから最近の話題曲まで、豊富なレパートリーの中から愛・平和を歌った歌がもりだくさん。



SPROUT

垂水の真鍋さんを中心に集まった子ども達。元気一杯の小学生～大学生達が勢揃い。ピアノ伴奏に合わせて手話つきで自作の歌「I Love The Universe」を披露され、会場は楽しい雰囲気になりました。全員で手話を覚えて合唱!

I Love The Universe



- 世界中の子ども達が歌を楽しめる世界になってほしい
- 一緒にこの場所に来てくれてありがとう
- 子ども達がユニセフを通じて人とのつながり・やさしさを自分達でつかむその手助けができて嬉しい
- 子ども達の参加が心に残り、明日からの取組みへの力ももらう
- 戦争へのブルーな気持ちが、学生達の参加に未来明るく思えた
- 子ども達から純粋な気持ちをもらう
- いろんな子ども達があちこちで活動しているのは見ていたが、今後こういう発表の場への参加を声かけたい(発表の場を与えてあげたい)
- 盛況でよかったと思うと同時に日本の平和を改めて実感・感謝
- 子ども達の歌「やさしさの歌」涙出そうになった、若い人達のお手伝いもありがとう

長島義明さん写真展

県支部1周年記念「ワンワールド・ワンチャイルド」

3/17-3/23 コープこうべ生活文化センター1階ロビー



関西ジャズ協会・神戸発「アフガンの子どもに学校を」

3月16日(日)「愛と平和」をテーマにチャリティコンサートを開催。ユニセフへの支援の輪が広がっています。会場の神戸、松方ホール・ホワイエ

では、「ワン・ワールド ワン・チャイルド」の長島義明氏の写真も展示され、平和の大切さを問いかけるひとときとなりました。



第1回理事会、評議員会を開催しました

2月3日(月)、コープこうべ生活文化センター会議室にて、午前11時から理事会を、午後1時30分からは評議員会を開催。2002年度の事業報告、収支決算見込み、また2003年度の事業計画及び収支予算、役員について提案、承認いただきました。竹本会長からは「ご

出席いただいたみなさまからのご意見を、今後の活動に積極的に活かしてまいります。今後ともご協力をお願いしたい」とご挨拶。午後からの評議員会終了後、三木市立三木中学校の生徒が募金を持参、温かい気持ちとともいただきました。



ユニセフがアフガニスタンの子どもたちのため、学校を建てる計画をすすめている。素晴らしい事だがお金もかかる。何時代の時代も戦争は弱者に犠牲を強いる。アフガニスタンでもそうだった。家が破壊され、家族がなくなり、学校が壊され友人が亡くなった。教育も満足に受けることができない。

私たち大人は国家、人種、宗教を越えて子どもたちを守り、育てる義務があると思う。なぜなら、子どもたちこそ人類にとって未来そのものだから。世界の子どもをみると、私たちの人生の指針ともなるつながりを見いだすことができる。文化背景が全く異なる子どもたちが、いかに短時間のうちに一緒に遊ぶようになるか、気づいた人は多いはずだ。それぞれ私たちが子どもから学ぶものなのだ。

戦争の犠牲になったアフガニスタンの子どもたちのために、私たちができること。ポケットマネーからわずかでも良い、お金をユニセフ兵庫県支部に寄付しよう。そのお金で建てられた新しい学校で学ぶ子どもたちの笑顔を思うと、たのしい気持ちになる。この写真展「世界の子どもたち」は、そんな日本ユニセフ協会兵庫県支部の趣旨に賛同して展示しています。みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

2003年3月

写真家 長島義明



長島義明氏 1942年大阪生まれ。1966年より海外各国を撮影し、現在までに100か国以上を旅する。1985年、アメリカ芸術雑誌協会最優秀賞受賞(『One World One People』アメリカ・アーケインターナショナル出版)。最近では2001年世直し時代劇で、幕末の写真家 上野彦馬役を演じ、後に写真展「平成威信の肖像」開催。2001年10月-2002年12月、日本各地30か所で写真展「平和だったころのアフガニスタン」開催。2003年3月、大阪で写真展「38度線を越えて 北朝鮮」開催。現在はキューバから帰国後、奈良吉野を撮影中。

伊藤ハム株式会社がユニセフに協力

企業として「社会貢献活動」への取り組みを開始。ユニセフ理解はもちろんのこと、マッチングギフト(一定期間での職員によるユニセフ募金と同額を会社が負担すること)、会員加入など、積極的な取り組みが始まっています。



県立西宮高校吹奏楽部 第13回定期演奏会をユニセフへのチャリティコンサートに

4月12日(土)西宮市市民会員のみなさん、また関係の先館にて、世界平和に少しでも生方の温かい思いをいただき貢献できればと入場料などを

募金として寄付していただきました。「未来ある世界の子どもたちに愛を届けるため」高校生の部



ユニセフってなあに ~いっしょに学習~

学習会を開きます

- 日時 6月17日(火)13時~14時
- 場所 コープこうべ生活文化センター 5F会議室
- 内容 「世界の子どもたちはどんな生活をしているんだろう」「5歳の誕生日を待たずに、亡くなってしまおう子どもがいるなんて...」など、まず、知ってみませんか。
- その他 お気軽に参加ください。

学習会を出前します

- 開催日、時間、会場などを決めていただければ、お伺いします。
- 少人数(10名程度)でもOK。
- 講師(学習ボランティア)の交通費(実費)のみご負担ください。
- 学習内容については、事前に打ち合わせいたします。



2月15日の学習会の様子

ボランティアチーム紹介 第2回

教材チーム

私たち教材チームは、展示用の学習パネルやポスターなどを作成しています。どのようにすれば一目瞭然と皆さんに訴える力のあるものができるのかと、ワイワイ言いながら試行錯誤を重ねています。イラストやレタリングでのボランティアも大歓迎です。お得意の方(学生の皆さんも!)お手伝いください。



これまでに開催した学習会

訪問日	訪問先	対象	人数
1月21日	コープ新多聞	レイボースクール受講生	13
1月20日	市川町立甘地小学校	小学6年生	48
1月28日	春日町立黒井小学校	小学6年生	50
2月4日	コープこうべ芦屋コープ委員会	コープこうべ組合員	19
2月4日	西宮市立甲陽園小学校	小学2年生と保護者	160
2月5日	春日町立黒井小学校	小学6年生	50
2月15日	コープこうべ第4地区平和委員会	コープこうべ組合員親子	65
2月17日	赤穂市立坂越小学校	小学6年生	69
3月9日	兵庫県立祥雲館高校友会	保護者他	13

ユニセフのカードとギフト

ようこそ! カタログ春・夏号です。優しい心をこめて、親しい方へカードはいかがでしょう。新しいギフト商品も仲間入り。



トート・バッグ

ネパール・カード2003

ご利用いただくことで代金の50%が現地での活動資金として役立てられます。紛争下の子どもの保護や緊急援助、感染症から子どもの命を守る予防接種の実施、栄養不良の改善や教育の普及等に使われています。

毎月7日はカード・グッズの販売日です! コープこうべ生活文化センター1階ロビー

視聴覚教材の貸し出しをしています

ユニセフの活動や世界の子どもたちの現状など、ビデオテープを使って学習できます。新しく『世界子供白書2003』『I am a child』も加わりました。



ポスターセットやパネルなども利用することもできます。



詳細(使用期間、申し込み方法など)についてはお問い合わせください。

旧ユーゴスラビアを訪ねて

《2001年10月13日～20日》

一昨年、ユニセフスタディツアーで訪れたサラエボ、コソボ。現在では緊急募金も打ち切られている。しかし本当の意味での復興はこれから。兵庫県支部でユニセフの仕事に関わるようになってから感じたことも含め、ふりかえってみた。

ボスニア・ヘルツェゴビナ

首都サラエボの人口は438万人。面積は日本の約1/7。1992年から1995年に起こったボスニア紛争で1万人以上の市民が犠牲になった。サラエボオリンピック(1984年)が開かれた

グラドが、紛争中は墓地に、現在は脇に移されていた。また、紛争から6年以上が経過した今でも、前線地では一般の住宅やアパート等に多くの銃弾の跡が見られた。

コセボ・スタジアム横の墓地
サラエボは1992年～1995年までボスニア紛争の激戦地となったところ。1万人以上の市民が犠牲になった。サラエボ冬季オリンピックで使用したスタジアムが紛争中は墓地に、現在はグラド脇に移され、犠牲者のお墓が並んでいる。



赤ちゃんにやさしい病院
母乳育児を実践している病院。ユニセフとWHOが作成した「母乳育児の成功のための10カ条」を守る病院を認定。出産前の母親、父親学級、出産後30分以内の母乳育児、24時間母子同室などを実施。



子どもにやさしい病院
小児病棟内に子どものプレイルームをつくったり、面会時間を増やすなど親や家族へのサポートも行なっている。



子どもを主体とした学校
先生から生徒への一方的な授業ではなく、子どもが中心となって、子どもが積極的に参加できる授業をし、紛争で離



ロマの難民キャンプ



難民キャンプでの学校を支援。6歳～22歳までの120人が学んでいる。ロマの子どもたちは、学校でいじめを受けたり、親が学校の規則を嫌い通わせなかったりなどの理由から、学校へ通う習慣がなかった。ボスニア語、算数、音楽、美術、踊りなどの他、保健衛生のことも学んでいる。夕方からは母親学級が開かれる。病院で出産することもなければ、避妊についての知識もなかった。市内から産婦人科医と小児科医が訪問し知識を普及している。

れてしまった子どもたちの心を学校に戻すことが目的。子どもたちが学校を楽しむ場所だと感じようになり、学校の雰囲気が変わってきたとのこと。

コソボ

1999年のコソボ紛争で、NATOがコソボの連邦軍施設やセルビア人が使用していた通信基地等を空爆。200万人の約8割を占めていたアルバニア人は近隣諸国への難民となり流出。ユーゴ連邦が和平案を受け入れた後、コソボは国連コソボ暫定統治機構(UNMIK)によって統治されている。本当の平和はいつくるのだろう。

国連、警察の車

市内で見かける車はほとんどが国連関係か国際警察、コソボ警察の車という現実。軍の装甲車が地雷や不発弾の撤去作業などを続けていた。

アデム・ヤシャリー一家 大虐殺の跡

コソボ紛争発生地。アルバニア人でセルビア抵抗派のリーダーが住んでいたこの家を包囲し銃撃を浴びせた。約20人の大家族は少女一人を残して虐殺され、この事件をきっかけに紛争が激化したといわれている。



コソボ公衆衛生研究所

予防接種ワクチンを保管する大型冷蔵庫。またワクチン輸送車や保健員のトレーニングなども必要。予防接種普及率は90%に回復した。



ユーゴスラビア

多様性の共存から
同質性の追求へ、
そして民族浄化へと

モザイク国家と呼ばれる訳は...

7つの国境

6つの共和国

5つの民族(スロベニア、マケドニア、セルビア、クロアチア、モンテネグロ、モスリム)(6つになりました)

4つの言語(セルビア、クロアチア、スロベニア、マケドニア)

3つの宗教(カトリック、東方正教、イスラム教)

2つの文字(キリル、ラテン)



学校再建

1000以上あった小学校の校舎の45%が破壊された。このような山奥の僻地にもやってきたセルビア人。この日は新しい校舎の開所式が行なわれた。子どもたちはアルバニアの民族衣装に身を包み、アルバニア語で詩を朗読。自分たちの言葉で自由に学ぶことができる喜びを全身で表現してくれた。教育とは文化の継承であることを実感。今後はソフト面を支援していく。



子どもにやさしい学校

子どもたちの自主性に任せての運営はもちろん、聾唖クラスも設けられた。異なる民族の子どもを受け入れるだけでなく、障害のある子どもを受け入れることは「子どもの権利」に基づいている。「これからは子どもたち、親、教員が力をあわせて私たちの学校をつくっていく」といわれた、希望に満ちた顔の校長先生が印象的だった。



青少年センター

ユニセフとフランスのNGOが協力して開設したセンターでは、6歳～25歳までの子どもと若者が集っている。美術、演劇、語学、踊り、コンピューターなど様々なプログラムを自由に選択し参加することができる。



旅から1年半が過ぎ

旧ユーゴスラビアでは、90年代に大きな紛争が各地で勃発し、多くの子どもや女性が犠牲となった。学校や家を破壊された子どもたち、家族を失った子どもたち、難民となった子どもたち……。紛争の傷は心に深く残る。

私の中でのロマの難民キャンプでの子どもの笑顔と大人たちの顔。何もしない毎日を送っている人たちに対して、理解ができない私がいいた。しかし「わかる」と思うことが思い上がりかも。善、悪ではなく「生きている」とはこういうこと。そうまさしく、今をしっかりと生きている人たちをみたのかもしれない。

しなくてもいい戦争が始まった。四季を感じながら悠々と過ごしている私の向こうに、怯えている子どもたちがいることを忘れてはいけない。

兵庫県支部事務局長 福井康代